

加西市ふるさとミーティング2021秋 地域課題及び要望事項 回答書 賀茂地区

開催日: 令和3年11月1日(月) 場所: 賀茂会館

	項目名	内 容	地区・場所	担 当	回 答
1	防犯灯設置	賀茂地区では、8月末に防犯灯設置要望を行いましたところ、市担当課より一部箇所を除き設置可能との回答をいただき、ありがとうございます。 今後の課題として、既存電柱が無いことから、新たに防犯灯用に鋼管柱の設置が必要な場合、設置工事費用は地域での負担が原則ですが、市からの支援の可能性について伺います。 また、防犯灯の設置について、町と町との境や既存電柱のない箇所についても、今後も市からの支援をお願いしたい。	賀茂地区内	総務部	令和2年度に326灯、令和3年度(R3.10.14現在)230灯を既設柱に設置することにより、地元要望も少なくなってきたのが現状です。 最近では、既設柱のない所の要望を複数箇所いただいております。現状では地元負担において設置していただいております。 しかしながら、地区で要望いただく場合、町境で当該自治会として必要とされない箇所に地元負担で設置することは、負担増に繋がるとともに各自治会内の理解も得にくいことから、市で設置できるよう来年度から予算措置を検討しております。
2	獣害対策	野生動物から農作物を守る対策は市内全域の課題と考えます。現在、鳥獣被害防止対策事業により、自治会で有害鳥獣進入防護柵を設置する場合には、金網柵の資材提供を受けることができることから、多くの町で設置されています。 また、市では、集落(自治会または農会)単位で電気防護柵を設置する場合には、資材費用購入費の一部を補助されると聞いています。市内では多くの方が家庭菜園を営まれており、獣害対策には大変苦慮されています。 今後は、個人設置で電気防護柵の資材購入について、市からの支援の可能性について伺います。 また、参考までに昨年度の猪の捕獲状況(地域・時期)について説明をお願いします。 電気柵の補助の20万円で、どのくらいの距離を施工できるのか？	賀茂地区内	地域振興部	中長期的な視点に立つて獣害対策を推進していくためには、行政のみならず、地域住民や集落が主体的に取り組む必要があります。鳥獣被害対策における地域住民、集落、行政における役割は、それぞれ自助・共助・公助の三要素になぞらえて整理していくことが重要です。 ・自助(個人単位): 農地・住宅等の個人の財産への被害に対して電気柵やのり網での防除や維持管理、収穫残渣や生ごみを農地に放置しない事などは、地域住民が自ら実施することを基本とします。 ・共助(集落単位): 集落柵の設置及び維持管理、環境整備の他、個々の地域住民の対策を集落において共同で実施します。 ・公助(市、県、国): 大規模な予算が必要な金網柵資材の提供、山林部での銃器を用いた個体数管理を猟友会に委託、補助金による共助の活動支援などを行政が主体となって実施する対策です。 よって、個人の家庭菜園については、自助による取り組みによる対策をお願いします。市では、兵庫県森林動物研究センターなどの専門家の支援を受けながら、住民主体の獣害対策モデル地区を設置し取り組みを開始しています。住民の皆さんに獣害対策の知識を習得していただき、共助による集落柵の点検、維持管理等による必要な取り組みを実施していただくことで被害が無くなったとの実績も出始めていることから、こうした共助の取組への支援策の充実を図っていきます。 張り方や設置の仕方によって異なるが、1段で3km、2段1.5km、3段750kmの距離を目安として下さい。

3	防災無線	近年異常気象による風水害や、地震等の被害発生が危惧されています。このため、すみやかに命を守る行動をとるためにも、緊急時における連絡体制は大変重要なことです。 賀茂地区(15町)では10町でエリアトークを導入、他の町は有線放送となっていますが、新たにエリアトークを導入する場合には、新旧の機器での互換性がないと聞いてます。 現在、市内の一部地域で国の補助事業を活用した防災無線整備が進められています。今後、全市的な緊急連絡体制について、市の考えをお聞きます。	賀茂地区内	総務部	加西市では、近年の豪雨災害が多発している状況等に鑑み、市内全域をカバーする防災無線の整備を予定しております。 具体的には、令和2年度に市内全域の基本設計を実施し、令和3～7年度の5カ年計画で整備を進めてまいります。整備にあたっては、水害による浸水想定区域が多くある地区から整備を始めるもので、この地区については防衛施設周辺整備事業という国庫補助対象となることから、これを活用するものでございます。 国庫補助対象の有無にかかわらず、防災無線という趣旨と、受信機設置だけではなくスマホの活用や既存設備の利用も検討するなかで、できる限り住民の皆さまのご負担の少ない方法で導入してまいります。
4	県道整備	県道山下飾東線の、旧賀茂農協前から西側への直線部分の舗装が、特に痛みが激しく、舗装面が亀甲状で、轍ができ雨天時には路面に水が溜まる箇所があります。 県道路担当課では道路パトロールで、状況を把握されていると承知しています。 そこで、県道山下飾東線を含め、賀茂地区内の県道整備計画について、お聞きます。 県道山下飾東線の舗装修繕について、轍がひどいため雨の日には歩行者に水がかかる。予算的に難しいのなら、歩道側の半車線だけでも先行して修繕して頂けないか？	賀茂地区内	都市整備部	当該路線の路面状況については、市でも確認し、加東土木事務所においても状況を把握されております。賀茂地区内の県道整備については、小野香寺線(西剣坂町)の路肩拡幅や、クリーンセンター入り口(中山町)の街渠補修等の修繕工事は適時実施されています。 現在のところ、西長～東長町にかけて実施された歩道整備等の広範囲に渡る具体的な整備計画はございませんが、舗装打替え等、必要な修繕工事について適時実施してもらえるよう引き続き県に要望してまいります。 県の単独の修繕で部分的な修繕もできると考える。加東土木事務所に要望するので、また、要望箇所を教えてください。
5	ため池保全	県ため池保全サポートセンターと、町内ため池の管理パトロールを行いました。 その中で、洪水吐が小さいことや、水漏れがあること等、改修の指摘を受けました。 軽微な改修は多面的機能支払い交付金事業で対応いたしますが、高額な改修は、町では困難です。 町で「老朽ため池改修事業」を実施する場合、市からの支援の可能性をお聞きます。	賀茂地区内	地域振興部	地元にて管理頂いている「ため池」について、専門的な目線で点検を行う目的で、「県ため池保全サポートセンター」が設置され全県的に行われています。ご指摘のとおり大規模修繕やため池改修は多額の費用が発生するため、町での対応は困難であります。市といたしましては、国庫補助事業を活用しながら、順次ため池改修を実施している所です。 また要望箇所も多いため改修完了まで多くの年数を要しています。漏水や樋修繕・ため池改修などご相談がありましたら、現地立会を行いますので、農林整備課へご連絡ください。